



おれんじキャンペーンふじさわ2019

大盛況!

講演会 「誰もが安心して暮らせるまちづくり ~認知症本人と共に創る~」



丹野 智文氏

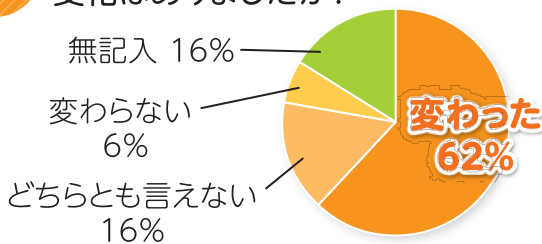
2019年9月25日(水)、市民会館小ホールにおいて、日本認知症本人ワーキンググループ副代表 丹野 智文氏をお招きして講演会を行いました。当日は、市民、支援者だけでなく、認知症ご本人やご家族も含め、240名を超える参加がありました。

講演後のアンケートでは「当事者の話を聞いてよかった」「本人の気持ち、意向を尊重していきたい」などの感想が多くありました。

丹野氏からのメッセージ 日頃からの備えが大切です

- 病気をオープンにすることで、サポートを受けることができます。一方、偏見があるので、オープンにできないという人も多いです。
- 認知症は、誰もがなりえます。認知症になってから周囲へ支援を頼むのではなく、日頃からの備えとして、近所(地域)とのつながりを作っていることが大切です。

アンケート Q1 講演後、認知症へのイメージの変化はありましたか?



アンケート Q2 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」のために何が必要と思いますか?(複数回答)

回答	人数(人)	回答	人数(人)
活動する場	97	見守る体制	73
集う場	90	支援サービスの充実	61
学ぶ場	77	その他	12

お立ち寄りください! 認知症カフェ

認知症カフェとは「認知症の方やそのご家族、介護者の方、地域の方が一緒に集い、情報交換や、個別相談をする場」です。市内の様々な場所で認知症カフェを開催しています! 詳細は「認知症カフェ&交流会・家族会マップ」をご覧ください。また市主催「えのカフェ」は広報・HPに掲載していきます。



市主催「えのカフェ」 湘南とうきゅうにて



イオン藤沢にて



おれんじサポーター(※) 活動レポート

(※)おれんじサポーターとは
認知症サポーター養成講座上級
講座を受講した方で、サポーター
としての知識を活用し認知症の
方やその家族を実際に地域で見
守り支える活動を行う方です。

各自ができる範囲の活動を行っています！

- ★地域の高齢者の見守り活動
- ★施設・グループホーム等でのボランティア
- ★おれんじキャンペーン2019イベントボランティア
- ★子ども向け認知症サポーター養成講座での寸劇・紙芝居 など



☆子ども向け講座の様子をレポート！

「認知症や高齢者になることはどういうことか」というテーマについて、おれんじサポーターの寸劇を交えながら、小学生と一緒に認知症の方への接し方を考えました。寸劇では、認知症役の方に対して、あどけない敬語を使いながら、笑顔で優しく対応してくれました。

受講後のアンケートでは、「認知症になった人がとても苦しい思いをしていたのが分かった」「お年寄りや認知症の方は大変なので優しくしたい」など、認知症の方の気持ちに寄り添い、自分でできることを考えてくれました。



知っていますか？「藤沢おれんじプラン」

藤沢市では、2019年4月に「藤沢おれんじプラン」を作成しました。本市では、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を目指す地域社会像として掲げています。

藤沢おれんじプランは、本人ミーティングや個別インタビューなどで伺った認知症ご本人の方の声を重視して作成しました。また市内13地区における地域での取組、本市と包括連携協定締結企業との取組なども掲載しています。



藤沢おれんじプランの冊子は市役所、各市民センターに置いてあります。ご覧ください！



「藤沢おれんじプラン」の内容はホームページでもご覧いただけます。

2023年度までの「ALLふじさわ」での目標

キーワード①
知る

- 正しい知識や対応などを学ぶ場や機会の充実
- 認知症ご本人の声に寄り添う場や機会の充実

キーワード②
集う

- 認知症ご本人の活躍の場や機会の充実
- 認知症について集い語れる場や機会の充実

キーワード③
支える

- 地域における見守り体制の充実
- 認知症ご本人の意向に沿った支援の充実



+ **備える**

- 近隣等とのネットワークをつくる
- 利用できるサービス等の情報収集 など

「ふじさわおれんじNews」は認知症の方やご家族、地域の皆様の声や活動などを紹介する紙面です。今後ご注目ください！